

授業科目名・形態	精神保健福祉援助演習Ⅱ		必修・選択の別	選択	
担当者氏名	脇山園恵、白男川尚、石岡和志、古川博文	開講期	4年後期	単位数	1

【授業の主題】

精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、事例とロールプレイングなどの個別指導と集団指導を通して、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養することを目的とする。

【到達目標】

- 1) ソーシャルワークの基本的な技術と方法を実践的に理解する。
- 2) ソーシャルワーク実践における「価値」と「理念」について、具体的な事例を通して理解する。
- 3) 精神保健福祉制度や社会資源および精神保健福祉に関する知識やリハビリテーションなどを理論的体系的に理解し、事例を通じて実践的に応用できるようになる。
- 4) 基本的なコミュニケーション技術と面接技術を習得し、情報の収集と問題の発見・分析・解決の方法と記録に関する知識と技術を身につける。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 自己理解を深める
- 第 2 回 援助過程に沿った事例展開の実際① ～インテーク・契約など～
- 第 3 回 援助過程に沿った事例展開の実際② ～アセスメント・プランニングなど～
- 第 4 回 援助過程に沿った事例展開の実際③ ～支援の実施・振り返り（モニタリング）など～
- 第 5 回 援助過程に沿った事例展開の実際④ ～終結・支援の振り返りとアフターケアなど～
- 第 6 回 課題別事例展開の実際① ～社会的排除（偏見・差別）など～
- 第 7 回 課題別事例展開の実際② ～退院支援・地域移行・地域生活支援など～
- 第 8 回 課題別事例展開の実際③ ～地域における精神保健（ひきこもり・児童虐待・アルコール依存症など）など～
- 第 9 回 課題別事例展開の実際④ ～教育・就労（雇用）など～
- 第 10 回 課題別事例展開の実際⑤ ～貧困・低所得・ホームレスなど～
- 第 11 回 課題別事例展開の実際⑥ ～精神科リハビリテーションなど～
- 第 12 回 地域基盤整備と地域生活支援活動① ～アウトリーチなど～
- 第 13 回 地域基盤整備と地域生活支援活動② ～ケアマネジメントなど～
- 第 14 回 地域基盤整備と地域生活支援活動③ ～チームアプローチとネットワークキングなど～
- 第 15 回 地域基盤整備と地域生活支援活動④ ～社会資源の活用・調整・開発など～

【授業実施方法】

基本的にはグループ演習とする（必要に応じて講義形式を取り入れる）。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。日頃から新聞などで報じられる精神障害者をはじめとする障害者の抱える問題に関心を持ち、それらの問題とソーシャルワーク実践との関係について確認すること。

【主な関連する科目】

精神保健福祉援助実習指導、精神保健福祉援助実習、精神科ソーシャルワーク論、精神科リハビリテーション学Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉援助技術各論Ⅰ・Ⅱ、地域福祉論Ⅰ・Ⅱ、福祉行財政と福祉計画など

【教科書等】

精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『精神保健福祉援助演習〔基礎〕〔専門〕』（第6版）へるす出版

【参考文献】

必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

提出物（ワークシートなど）70%、グループ発表への参加状況30%で評価する。60%以上の得点で合格とする。

【学生へのメッセージ】

精神保健福祉士としての課題は、精神障害者の生活問題に対応するために、社会的復権と人権擁護の役割を担い、社会復帰を妨げているといわれる障壁を取り除き、地域社会の体制を整えることが挙げられる。利用者との「かかわり」を大事にする専門職の実践への準備ととらえて演習に臨んでください。